



# アンビシャス



難病も多病の中では  
ご縁の一つ  
多病者が語る難病

表紙は語る

「潰瘍性大腸炎他」

アンビシャス通信

5月の報告あれこれ

アンビシャスメモ

保健所からのご案内

令和6年【9月開講】

障害者委託訓練生募集のお知らせ

「指定難病要支援者証明事業」について

難病医療相談会のご案内（8月までの予定）

こころの現場から

つぶやきチャンネル

シリーズ 第111回

『患者学』 加藤 眞三先生

沖縄県難病団体の掲示版

団体定例会・交流会スケジュール

アンビシャスからのお知らせ

中高大生のおしゃべり会参加者募集

沖縄県内難病患者団体一覧

今月のおくすり箱

アンビシャス広場

エッセイ 渡口 正さん

お勧め映画情報

占い

編集後記

2023年度アンビシャス事業報告書

## 表紙は語る

金城 秋男（きんじょう あきお）さん

潰瘍性大腸炎他

## 難病も多病の中ではご縁の一つ、多病者が語る難病



平成5年度 難病・メンタル疾患発生時

キーワードに一人語りです。

私が発症した難病は「潰瘍性大腸炎・UC」読んで字の如く肛門と大腸に炎症等を起こす病で完治未確認の難病です。症状としては、下痢・血便・貧血・腹痛・体重減少等を主とします。私が発症したのは何時だったでしょうか？

あれは、平成5年出向先の慣れない環境、人員、全ての環境に私は心身限界状態でした。（当時の記念写真では涼しい顔をしていますがおしとロポロ）課業中、便意をもよおしトイレに駆けこんだところ、腹痛を伴うので下痢か？と思えば便器の様子を見ると、便器内は鮮血!! 真っ赤!! 真っ赤な便器を見た時、私は驚嘆しつつ涙しました。最初の発作の記憶はこんな感じです。鮮血・血便が交互に出現しますが「職場のストレスが原因。環境が変われば落ち着くと、元々お腹が弱い私はそんなもんだ」と思い込んでいました。

しかし、人事異動で慣れた職場環境への変化が起こっても血便・腹痛・体重減少（4〜5キロ減）が継続します。ある晩、便意で起きると今までに無い「腹痛」「油汗」を流し、時には「歩行困難」になり便器を抱え、朝を待つ日々が続きました。衰弱した私を両親は総合病院に連れて行き、初見で即入院、治療に入ったのです。24時間点滴・絶食と即治療がスタート。初の大腸カメラに向けて寝台で準備していると「カメラが通らない！」T医師のボヤキ声が私を不安にしました。T医師曰く「大便が固くなり排出されず、大腸の何処かで岩の塊のようになる便塊かも知れない。便塊を破壊しないとファイバーカメラが通らない。大腸壁に便塊が刺激を与え出血、腹痛の原因になっているかも知れない。とにかく便塊の破壊です。」と。

何やら土木工事を施工するようなスタッフの処置が続き何とか便塊を破壊。いよいよ、自身の大腸内部と

皆さん「多病」ってご存じですか？

私見ですが「様々な病を同時に抱えて通院に勤しむ」こんな感じかなと思っています。しかし、多病の全てを語るスペースが無いので今回は「難病」を中心に語ります。

私の持病を羅列してみます。

（令和6年5月時点）

- 潰瘍性大腸炎（消化器内科）
- 双極性障害II型（精神科）
- 緑内障（眼科）
- 脳梗塞（脳外科）
- 根尖性歯周炎（歯科口腔外科）
- 咽頭ポリープ（耳鼻咽喉科）

これが多病です！

それでは、気の向くまま難病を



妻とのデートは何時も食べています。笑

初対面です。初見の緊張もどこへやら。野次馬気分でカメラ検査が進む。素人の私が見ても明らかに私の大腸は普通じゃない。腸壁は白くただれ、薄皮を剥ぐように血液の塊、血管が浮き上がりカメラの侵入を阻む。カメラケーブルが腸壁に触れると即出血してしまう。「これは危ない」と即座に思い、そして「素人が出る幕じゃない。医師にお任せするしかない。」と思ったのです。

夕方病室にT医師が来られると「難病の疑いが大きい。潰瘍性大腸炎・ベーチェット病・感染性の疾患の可能性もある」とのこと。当時私は職場環境への不応等から来る心身喪失状態（うつ病疑い）として精神科での通院治療を開始したばかりでした。

「精神疾患に罹患したばかりのこん

な時に、今度は臓器（大腸）の病で難病！何それ？」と激しく動揺してしまいました。

難病というキーワードが頭から離れず、恐れ動揺している日々を過ごし10日程経過。薄つすらと「もう闘病は疲れた。心身疲労困憊。死。」をぼんやりと考えていました。そんな時T医師が回診で「ほぼ潰瘍性大腸炎。全大腸型であろう。難病という範疇に入り完治確認が難しい。症状安定（寛解）を目指す病なんだ。最近では薬物・治療術もほぼ確立されている。」私はT先生からのお話をあっけに取られ呆然と聞いていました。

ですが意外に立ち直りは早い私です。精神疾患に比べれば受容出来る！精神科での診断・治療に比べれば難儀な事は無い。なんとなく難病とお付き合いできるかも…。

多病のスタートになったのですが、「内科疾患の一つだ」と前向きに受け入れる事ができました。退院後のUC対応を思索しながら、特定疾患申請の為、役場や保健所を駆け回り、保健所職員から難病（UC）の情報提供を受けました。一番の収穫は同病（IBD・炎症性腸疾患）の方が集う患者会の存在を知った事です。「患者会」との関係はUCだけでなく「うつ病」を受容

するにも大きな分岐点となりました。初回発作から20数年4〜6回余り再燃入院を経験していますが、メンタル面が強化されている事を非常に感じます。さらに他の病との関りも、難病を受け止めたからこそ少ないダメージで受容できました。多病を経験する中、メンタル面の強化を非常に感じています。

私は「ご縁」を大切にしています。「縁」と言う運命的な結びつきや関係でしょうか。生きていく上で「ご縁」は非常に大切です。誰と出会うか、何と出会うか、何と結ばれるか、何を知らるかetc。多病を経験する中「いよいよ私も終わりがかも」と切迫した瞬間が何度もありました。その時を乗り越えられたのは妻、両親、兄弟、多病の主治医、医療スタッフ、患者会でお出された方々、SNSの友人、リアル、リアル外問わず私にかかわってくれた多くの方々から頂いた「ご縁」のおかげなんです。

とある日、担当医師からこんな言葉をかけてもらいました。

「秋男君は、知性と感受性を大切に闘病している。才子多病だな！」（才能あるものは才がある代わりに、得て病気がちであることを言う。）

まさかあ誉めすぎです！知性はともかく感受性は大事にしています。

特に、痛い、苦しい、辛い、不安だ、怖い等、あらゆる泣き言（感性）喜怒哀楽を訴えますが、その不安要因にも私なりの回答（自己分析）を持って受診するスタイルです。多病受診ノートも大学ノート19冊目に入りました。私の歴史書です！

さて、最後まで私の拙文「二人語り」にお付き合いくださいありがとうございます。最後にありますが「難病、多病持ちでも変わった人がいるな？」と思つて頂ければ幸いです。

## 語者プロフィール

金城 秋男 (きんじょう あきお)さん

昭和40年 那覇市生まれ

【目標】減量・禁煙継続

【趣味】妻と一緒にTV視聴

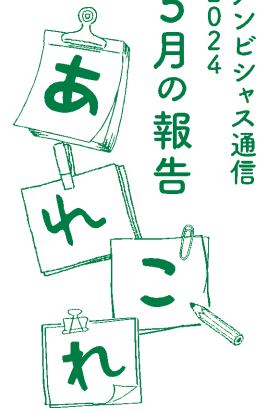
【夢】北海道旅行・ふく料理を食する

【好きなこと】食べ歩き・お昼寝

【最近の楽しみ】NHK朝ドラ視聴

【特技】速読

【好きな音楽】ラジオ大好き



## イオン・幸せの黄色いレシート キャンペーン贈呈式

5月11日イオン南風原店において、イオン・幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式が行われました。この贈呈式において、皆様からの善意の黄色いレシートが形を変えて、イオン琉球株式会社様からの寄付として16万7000円受け取ることが出来



ました。皆様の心温まるご支援に誌面をお借りして御礼申し上げます。いただいたご浄財は、難病情報誌「アンビシャス」送付の封筒購入(約1年分)に充てさせていただきます。

## 第23期 通常総会

5月15日アンビシャスにおいて、第23期通常総会が開催されました。第23期事業報告、決算報告並びに予算等を中心とした審議・報告がおこなわれ、旧年度の活動報告と新年度の計画発表がおこなわれました。決定した内容については、12頁以降に資料を添付して開示してありますのでご覧ください。

## 「難病の日」イベント のご報告

一般社団法人日本難病・疾病団体協議会(JPA)は2014年5月23日に「難病の患者に対

する医療等に関する法律」(難病法)が成立したことを記念して毎年5月23日を「難病の日」に登録しました。患者や家族の思いを多くの人に知ってもらおう機会とするのが目的です。

アンビシャスでは、今年3月に「芽吹く出会い」の場のイベントを開催し、次は、この芽吹いた出会いを大切に、成長させていくことが次の課題と捉え、今回、「難病の日」に合わせて、一緒に「まだ出会えていない方が困らないために役立つ難病のしおり」を作成できたらと、イベントを計画しました。

5月23日は14時から沖縄県総合福祉センターの会場と、オンラインの2会場をつなぎ、患者本人、家族、支援者の33名が集まって、2時間意見交換の場を持ちました。グループワークで個人が話せる時間を多くとるようにして、「どんな内容をしおりに入れると良いと考えるか」の意見を9グループより提案していただきました。

今後、引き続き「しおり作成プロジェクト」に参加希望していただける方と一緒に、まだ出会えていない方が困らないために「難病と診断されたときに役立つしおり」を作り上げていけたらと考えております。次回は平日お仕事の方もご参加いただけるよう、同じ内容で土曜日の開催を予定しています。

途中参加の方も含め、希望者と共に「しおり作成」に向けて取り掛かっていけたらと考えておりますので、ご興味のある方はお気軽にお問合せください。



## 2024年7月の各保健所からのご案内

【北部保健所】Tel:0980-52-2704

【那覇市保健所】Tel:098-853-7962

【中部保健所】Tel:098-938-9883

【宮古保健所】Tel:0980-72-8447

【南部保健所】Tel:098-889-6945

【八重山保健所】Tel:0980-82-3241

各保健所、7月の予定はございません。

## 令和6年【9月開講】障害者委託訓練生募集【募集期間:令和6年7月1日(月)～25日(木)】

【訓練期間:令和6年9月2日(月)～11月29日(金)】(3ヵ月間)

コース名	定員	管轄校	募集対象	訓練場所	委託先
リネン類 クリーニング科	2名	浦添校	知的障害、精神障害、発達障害、 その他(高次脳機能障害、難病)	宮古島市	沖縄綿久寝具 株式会社(宮古工場)

※受講料無料(但し教科書代、検定料、保険料は自己負担)

【申込方法】住所地のハローワーク 【お問合せ】浦添職業能力開発校 TEL:098-879-2560

## 沖縄県保健医療介護部 地域保健課からのお知らせ 「指定難病要支援者証明事業(登録者証)」について

指定難病に罹患している方が福祉・就労等の各種支援を円滑に利用できるようにするための「登録者証」の発行が沖縄県においても2024年6月よりはじまりました。この「登録者証」は国の定める指定難病(341疾病)に罹患されている方が対象となります。

## 【対象者】

登録者証の発行対象者は(1)～(3)のいずれかに該当する方々のみです。

1. 特定医療費(指定難病)医療費助成の受給者
2. 特定医療費(指定難病)医療費助成を申請した方の中で、診断基準を満たすが重症度基準を満たさず不承認となった方
3. 特定医療費(指定難病)医療費助成を申請していない軽症の指定難病患者

申請方法等につきましては、沖縄県保健医療介護部地域保健課のホームページをご参照ください。

<https://www.pref.okinawa.jp/iryokenko/shippeikansensho/1005243/1029374.html>

## 【お問い合わせ窓口】

お住まいの管轄保健所または、沖縄県保健医療介護部地域保健課

登録者証  
QRコード

## 難病医療相談会 2024年度(8月までの予定)

専門医による個別相談(お一人30分間)を無料で受けることが出来ます。定員は4組となっております。先着順となりますので、ご希望の方はお早目にお申込みください。

疾患	担当医	日程
神経系疾患 パーキンソン病、重症筋無力症、 多系統萎縮症、多発性硬化症など	渡嘉敷 崇先生 (沖縄病院)	8月9日(金) 14時～16時
肝臓系疾患 自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎など	前城 達次先生 (琉球大学病院)	8月28日(水) 16時～18時
膠原病系疾患 全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、皮膚筋炎/ 多発性筋炎、シェーグレン症候群、ベーチェット病など	喜瀬 高庸先生 (那覇市立病院)	8月31日(土) 14時～16時

【主催・開催場所】沖縄県難病相談支援センター(認定NPO法人アンビシャス) 那覇市牧志3-24-29

【お申込み・お問い合わせ】Tel:098-951-0567(平日10:00～17:00)

こころの

現場から



## 自己中心的な心性の程度

周囲を見渡すと、平和で穏やかに生活している人もいれば、ギスギスして嘘をつき騙し騙されながら生活をしている人もいます。これは人間が基本的にもっている自己中心的な心性の程度に影響されることが多いです。平和で穏やかな生活をしている人は自己中心的な心性が適切に機能していると言えますし、騙し騙されながら生活している人は自己中心的な心性が強すぎると言えます。

ある程度、自己中心的な心性をもっていることは自分のことを大事にしながらかるために必要ですが、強くなりすぎると「自分の都合に周囲が合わせる」ことが当然である」という心理になります。周囲の人を自分の都合のよいように管理し操作しようとする心理は、子育てにも介護にも見られます。大人の無意識の想いに管理され操

作されて育てられた子は、大人になると自分が幼少期にされてきたように周囲を管理し操作しようとしてきます。それが「当たり前」で「普通」であると確信しているからです。介護の場面であれば、患者を管理し操作することが「支援者のバーンアウトを防ぐため」という文言に覆

い隠されて堂々とおこなわれます。自己中心的な心性の程度は、お互いの関係性によっても変化します。一方が強すぎる自己中心的な心性を有しており、他方がそれを甘んじて受け入れていると依存関係と支配・被支配の関係が構築されてしまいます。生まれもった特徴や性質や能力差はあるとはいえ、人が自己中心的な心性を適切に作用させるためには、自分が丁寧に扱われた経験や自分が大切に扱われた経験が必須です。一人前になる迄は、適切に教育され、愛情のもと適切に庇護され、自らがかけがえのない存在であることが実感することが必須なのです。



士師里依  
心理師 鎌田 依り  
臨床心理士  
鎌田 依り  
(かまだ えり)

つぎやきチャンプルー



## 闘わなくっちゃ

アンビシャスでは、毎月の会報誌で難病を持つ方の体験談を紹介しています。こういった体験談の中に「闘病記」という病と闘うタイトルがあります。この闘うは、病という困難に対して挑むことが大切であると考えます。過去の相談で「私はいつも病気に負けないように闘っている」という方がいらしました。その内容も今の辛い現状を誰も理解してくれないというものでした。

そこで私の頭に浮かんできたのが映画「ロレンツォのオイル」でした。イントロでアフリカの踊りとともに「闘わなくては」との意味から物語が始まったと記憶しています。主人公のロレンツォという名の男の子が難病のひとつ「副腎白質ジストロフィー」を発症してからの流れです。その両親は苦しみながらも疾患のプロセスなどの情報を集めなんとか死なないようにしたいとの思いから民間療法ではある「オイル」を開発し延命することが出来た。という実話をもとにした映画でした。借金し仕事も辞め、なかなか上手くいかず苦悩する映画です。

私は病と闘うということはここまですることなのかと感じた内容でした。振り返ってみるとクロン病を罹患した私は患者会の活動をすることによって闘ってきたと思えます。闘うことも受容への一歩なのかもしれません。



通名喜照  
著:照喜名通

## 薬ののむ方についての基本知識

## 薬をのむタイミングは

薬の服用時間は、朝食後とか毎食後、食間、毎食前、就寝前などの指示が書かれています。食間とは、食事中ではなくて食後2時間を目安にというのみ方です。

なるべく薬をきちんとのんでもらうために、近年は1日1回の服用にしようとする流れがあります。そんな時、朝食後の服用とする場合が多いのですが、本当は朝に服用しなくて良い薬もあります。

例えば、コレステロールを下げる薬、胃酸を抑える薬、胆石を溶かす薬などは、理論的には就寝前にのんだ方が効果が高いにもかかわらず、朝食後にと指示されていることがあります。それはのみ忘れないように、1日1回にまとめるための配慮からなのです。しかし、もし、他に夕食後や就寝前にのむべき薬があれば、上記のような薬を就寝前にのんでも良いわけです。

のむことを  
中止してよい薬といけない薬

処方した薬は医師の指示通りにのんでもらうことを前提に出されています。ですから、勝手にやめないことが原則です。

特に、抗菌薬などは、症状がおさまった後も服用期間を守ってもらいたい薬です。中途半端なのみ方をするとう耐性菌を増やしてしまうことになり、他の人に迷惑をかけることとなります。抗がん剤なども途中で中止すると、薬が効かなくなるおそれがあるため、続けるべき薬です。このように、原因を除去する薬では、一般にきちつとのんでもらうことが大切です。副腎皮質ステロイド薬なども突然中止すると思わぬ副作用が出ることもあり、主治医とよく相談の上で、徐々に減らしていくことが大切です。

一方で、症状を抑えるだけの薬、例えば解熱薬や頭痛薬などは症状が治まっていれば、自分で中止してよい薬です。そのような薬は、一般に頓服といって、症状があるときにのみよう指示されている場合が多いのです。

糖尿病では血糖を自分で測定し、

その数字に応じてインシュリンの量を調節するという投与方法があります。同様に考えれば、血圧の薬も自宅で血圧をモニターし、その測定値に応じて減量することが可能となります。測定した血圧が低く、しかも、フラフラするとか、身体の調子が悪いと感じるときなどに薬を減量するのです。しかし、そのような場合も、主治医と相談した上でおこなってください。そうではなく、主治医が知らない間に患者さんが減量していると、減薬のために血圧が高めであっても、医師は効果が足りないかと判断し薬を追加することになるかも知れません。

## 多剤併用をさける

高齢になると、多くの疾患を合併し、診てもらおう診療科や医師の数も増えます。そうなれば、服用する薬も増えます。複数の薬を服用する場合、薬物相互作用で薬同士が影響し合ったり、予想をしない副作用が出ることがあります。

急性期病院の入院症例では、高齢者の6〜15%に薬の副作用があり、60歳未満に比べて70歳以上では副作用が1.5〜2倍の出現率であったと報告されています。都内の診療所での患者

さんでは、服薬数が3〜4剤に比べて、5〜6剤では転倒の頻度が約2倍だったのです。

これらのことから、日本老年医学会では高齢者では五種類以上の薬をのむことに注意が必要と警鐘を鳴らしています。薬を処方するのは医師側の問題ではありませんが、医師は外来で患者さんから新たな症状を言われると、そのコントロールのためにと薬を追加する場合が多くなりがちです。一方で薬を減らす判断は意外に難しく、処方薬が増えてしまいうのです。ですから、患者さんの側からも、のむ薬の種類を減らしたいと意思表示しておくことは大切なのです。

加藤先生の YouTube配信中です!

「Dr.シンゾウの市民のための健幸教室」  
<https://www.youtube.com/@katoshinzo>

加藤先生の最新書籍

肝臓専門医が教える  
病気になる飲み方、ならない飲み方  
出版社: ビジネス社

加藤 眞三

慶應義塾大学名誉教授。上智大学グリーンケア研究所研究員。エムオーエー高輪クリニック院長。患者と医療者の協働関係を作り上げることをテーマに公開講座「患者学」や著作 等を通じ、患者も自ら積極的に医療に参加する啓発活動に取り組む。



沖縄県内 難病患者団体 掲示板

2024年7月の各団体定例会・交流会・総会スケジュール



団体名	日時	場所
全国膠原病友の会 沖縄県支部 南部地区	13日(土) 14～16時	那覇市保健所 3階(健康増進室) (毎月第2土曜日)
全国膠原病友の会 沖縄県支部 中部地区	21日(日) 14～16時	沖縄市社会福祉センター 2階「ゆい工房」
ギラン・バレー症候群 交流会	28日(日) 14～17時	ノホテル沖縄那覇 1階ラウンジ(毎月最終日曜日) ※必ず事前に9ページ連絡先へLINE又はお電話ください

※詳細は左記患者団体連絡先へお問合せください。

**中高大生のおしゃべり会**  
毎月最終金曜日  
18:30オンライン集合

小児慢性特定疾病や難病の方同士でおしゃべりする集まりです!

オンラインだから気軽に参加できます!  
事務所を開放するので、気軽に集うこともできます!  
ときには進行中の難病の最新情報の話を聞いたり!

生活の中で忙しさを打ち消すために、活動の場、おしゃべり会についても積極的に行っています!!  
最新医療情報に最新情報が届く2024年にも集うので、最新の話をすることもできます!  
学びや情報、入籍した時の話、子育ての話を聞いたり、経験者から話を聞くことができます!

**年間スケジュール**  
6月28日(金) 7月26日(金) 8月30日(金) 9月27日(金)  
10月25日(金) 11月29日(金) 12月27日(金)  
2025年 1月31日(金) 2月28日(金) 3月28日(金)  
時間はすべて18:30～19:30です。

小児慢性特定疾病や難病の方の個別相談も行っています。

主催・お問い合わせ 沖縄県難病相談支援センター  
認定NPO法人アンビシャス  
事業所 那覇市1-10-10  
TEL:098-951-0567(平日10時～17時)  
mail:ambichass@ambichass.or.jp

QRコード: <https://www.ambichass.or.jp/>

アンビシャスからのお知らせ

参加者募集 中高大生のおしゃべり会(難病10代しゃべり場の新企画)

当センターでは、2021年度より沖縄県及び那覇市から「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業」を承り、15歳～19歳の対象となる方へ自立に向けたお手伝いをさせていただいています。

その支援活動の一環として2022年より難病を抱える同世代の方々の交流イベントを開催し普段話すことも聞くこともできずにいた、治療や日常生活、学校での様子等について自由に語り合い、何かしらのヒントが得られ今後の励みとなる場を目指しています。

2022年は「しゃべり場」として当事者同士の交流会を企画。翌年2023年は難病を抱える先輩に、自身の進学や就職活動について話してもらい、先輩にこれ聞いてみる事ができる「先輩に聞いてみよう」へと名称を変更し開催して参りました。

今年度は「しゃべり場」「先輩に聞いてみよう」に参加された方と共に考案した新たな企画として「おしゃべり会」を毎月、最終金曜日にオンラインでの開催を予定しています。「しゃべり場」と「先輩に聞いてみよう」が毎月開催される形です。過去に参加された先輩も交え、難病を抱える同世代の方同士でおしゃべりできると共に、先輩に色々聞いてみる事も可能です。

普段病気に関わる不安や悩みを話せずにいた方には、是非参加していただけたらと提案いたします。

【開催日時】 毎月、最終金曜日の18:30～19:30 (※今月は7月26日開催)

【対象者】 15～19歳の難病/小児慢性特定疾病をお持ちの方

【開催方法】 Zoomオンライン 右記QRコードよりお申込み後、入室案内します。

【問合せ先】 沖縄県難病相談支援センター(認定NPO法人アンビシャス)

TEL:098-951-0567 (平日10時～17時)

※お気軽にご相談ください。相談は無料です。

※対象の年代の方のご父兄や関係の方がいましたらご案内をお願いします。

また個別ご相談も承っています。お気軽にお問い合わせください。

お申込みフォーム





# 沖縄県内難病患者団体一覧

団体名	代表者	連絡先
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会	宮本 勝也	(宮本)090-8413-2621 (上原)070-5819-4876 メール:k-mi-ya-18@docomo.ne.jp
全国膠原病友の会 沖縄県支部	阿波連のり子	(阿波連)090-1944-2441 メール:kougen.okinawa@gmail.com
もやの会沖縄県ブロック	金城 忠英	(金城)080-2719-4650
OPLL友の会(後縦・黄色靭帯骨化症)	黒 島	(久高)080-4119-1241 (安谷屋)090-7989-2130
沖縄サルコイドーシス 友の会	仲榮真 仇 祖堅 善樹	(仲榮真)090-6856-9274 (祖 堅)080-9851-5758
沖縄県網膜色素変性症協会	小野 雅幸	メール:okinawarps@gmail.com 北部部会(伊良波) 電話・Fax:0980-53-1262 中部部会(又 吉) 電話:090-3797-4125 南部部会(譜久島) 電話:080-1766-2669 八重山部会(田中) 電話:090-7766-5459 宮古部会(伊良波) 電話:090-8294-6174
全国パーキンソン病友の会 沖縄県支部	又吉 忠常	(又吉)090-8294-1974 メール:tadatune9030118@yahoo.co.jp
日本ALS協会 沖縄県支部	仲村 厚子	(島田)090-3418-7982
全国筋無力症友の会 沖縄県支部	上原 アイ子	(上原)090-7479-8841
脊髄小脳変性症・多系統萎縮症 那覇・南部患者の会	井上 栄治	(井上)090-5937-5292
脊髄小脳変性症・多系統萎縮症 中部患者・家族会	仲西 智春	(仲西)090-9585-9259
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	仲里 清彦	(仲里)090-8290-3569
PSP・CBDのぞみの会 九州・沖縄地区 (進行性核上性麻痺・大脳皮質基底核変性症)	嵩元 のり子	(嵩元)080-8903-7162
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	下地 ヒロ子	(下地)090-5489-4109
とんがらの会(宮古神経難病・患者家族のつどい)	砂川 泰忠	(砂川)090-9404-9442
八重山クローン病・潰瘍性大腸炎 患者 家族の集い	内間 洋子	(内間)090-9784-8219
神経難病友の会八重山	横目 トヨ子	(横目)090-7380-6329
ギラン・バレー症候群 交流会	山川 朝教	(山川)080-3955-1663 又は LINE公式アカウント <a href="http://nav.cx/fi71JOn">http://nav.cx/fi71JOn</a>
リンパ浮腫 ゆんたく会	喜納 美和	(喜納)080-9585-9344 mail:miwa.kina45@gmail.com

## 今月のおくすり箱

認知症の薬の効果は  
いつ現れるの？

現在使われている認知症治療薬はそれぞれ認知症のタイプにより使い分けされています。しかしながら、いずれの薬も認知症を完全に治す、元の状態に戻すものではなく、あくまでも認知症の症状が進むのを遅らせる薬です。

新しい事が覚えられない、思い出せない、同じ事を繰り返す等認知症の症状は様々ですが、薬の効果としては症状が変わらない、悪化していないという事が効いているということとなります。「治療薬を飲み始めたが効果が感じられない」と言われる方もおられますが、実は効果が出るまでに数週間〜3ヶ月程度かかるため、気付きにくいかもしれません。効果が出ないからといって服用を中断すると、かえって症状が悪化する事もあるため、不安な時には処方して頂いた病院(神経内科、精神科、心療内科等)を受診し、医師・薬剤師に相談しましょう。

超高齢化社会を迎える2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になると言われています。認知症は食習慣、運動習慣、休養等の生活習慣が深く関わっているとされています。まずはできる事から始め、自分らしくこれからの人生を送りたいものです。



沖縄県  
薬剤師会  
吉田 典子





エッセイ 渡口 正さん (ALS)  
この女性に学ぶ

主治医の藤崎先生から「これからの人生、長く生きましょう」と諭された私は、令和4年6月から仕事を退き療養生活を送ります。

ある日、我が家に来たヘルパーさんがさりげなくつぶやいた「正さんのふぐいを守らなきゃ」のひと言が私には堪えきれず、吹き出した。というのも、彼女はピチピチの30代。しかも、私はその言葉を久しく耳にしておらず、女性の口から聞くのも初めてだった。「ふぐい」って、ちよつと言いつらいが、ズバリ、きんたまを意味する方言やいびくん(でございます)。

彼女が20代前半に経験した出産は、看護学校の生徒さんたちの見学の下行われ、「そこに男子学生がいても平気だった」との彼女の話を聞いて、私は沖縄病院で看護師から入浴介助を勧められたものの、他人に自分の体を見られることへの羞恥心から入浴介助に踏み出せなかったことを思い出し、彼女をマジ凄いと思いました。

彼女は、エグい家族愛と介助作業の手際良さが際立つ美人さんヘルパーです。



お勧め映画/DVD 情報

1) 未来へのかたち 2021年

「砥部焼でオリンピックの聖火台を作ろう」と町をあげて実施される事になったデザインコンペ。しかし、町の陶芸家や家族内でも、揉め事が起こり…家族再生ストーリーでもあるが、はたして聖火台は、どうなるのか? 出演、伊藤淳史、内山理名、橋爪功、吉岡秀隆、大塚寧々。2020年7月3日に公開予定が、コロナ感染拡大の影響を受け延期された。作品は、妄想から生まれたフィクションである。

2) 逃亡医F

2022年 日本テレビ系ドラマ 10回  
大学附属病院の脳外科医師が、恋人である研究医の殺人容疑で逮捕される。真犯人を見つけるため逃亡しながら、潜伏先々でも事件等に巻き込まれる。サスペンスにコメディのスパイスもあり面白い。出演、成田凌、森七菜、松岡昌宏、前田敦子、安田顕など

渡久地 優子(進行性骨化性線維異形成症 (FOP))



今月の占い

リ=リフレッシュ法

牡羊座 3/21-4/19  
整理整頓でスッキリと  
リ…断捨離

天秤座 9/23-10/23  
睡眠時間を十分に  
リ…スキンケア

牡牛座 4/20-5/20  
深呼吸で切り替えを  
リ…ストレッチ

蠍座 10/24-11/21  
スキルアップで向上心  
リ…音楽鑑賞

双子座 5/21-6/21  
食事は健康的な物に  
リ…飲食

射手座 11/22-12/21  
言葉遣いに注意して  
リ…読書

蟹座 6/22-7/22  
体内リズムを整えて  
リ…散歩

山羊座 12/22-1/19  
情報収集で気付きが  
リ…テレビ視聴

獅子座 7/23-8/22  
楽しい時間を作って  
リ…ネット観覧

水瓶座 1/20-2/18  
優しく接する心掛け  
リ…掃除

乙女座 8/23-9/22  
リラックスして過ごして  
リ…歌唱

魚座 2/19-3/20  
頑固になりすぎずに  
リ…睡眠

編集後記

今月の「表紙は語る」をご寄稿されたのは、潰瘍性大腸炎を罹患された金城秋男さんです。潰瘍性大腸炎は炎症性腸疾患 (IBD) のひとつです。金城さんは他にも5つの病に罹患されていて、これを多病と表現されています。「多病」のなかにあつてこれに苦悩しつつも出会った方々との「ご縁」で多病を乗り越え、この「ご縁」に感謝されています。ご縁として人との出会いを大切にされる金城さんのお姿は見習わないといけないと感じます。

7月は、沖縄県の指定難病においては毎年の更新が始まる時期です。毎回、締め切りギリギリになり慌ててしまいます。今年こそは早めに済ませて、安心してほしいものです。また、指定難病の審査会で「軽症者」として受給出来なかった方向けの指定難病要支援者証明事業(登録者証)が始まりましたので、申請の際には登録希望とした方がよさそうです。

間もなく梅雨もあけ、夏本番に突入します。電気代も高騰しておりますが熱中症にならないように、冷房を使いながら水分補給も心がけ、夏を健やかに楽しみましょう。

文照喜名通



## 2023年度事業報告書(抜粋) (2023年4月1日～2024年3月31日)

2023年度もアンビシャスは数多くの皆様のお力添えをいただき、様々な難病支援活動を推し進める事ができました。ここに日頃の感謝を込め抜粋版ではございますが、下記の通り謹んでご報告をさせていただきます。

### 【記載内容】

- ① ご挨拶
- ② 2023年度事業報告書・・・・・・・・・・12頁
- ③ 難病相談支援センター事業・・・・13頁
- ④ 2023年度会計報告・・・・・・・・・・14頁

※紙面の関係で事業報告の一部のみ掲載しています。詳細はアンビシャスホームページ・活動概要(決算報告)でご確認願います。

## ご挨拶



理事長  
迫 幸治  
Sako Yukiharu



副理事長  
照喜名 通  
Terukina Tooru

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

アンビシャスでは 2023年度も数多くの皆様の心温まるご支援により、難病情報誌の提供や医療相談会、研修会等充実した難病支援活動を行うことが出来ました。

2024年度も成人・小児を問わずこれまで以上にスタッフのスキル向上を図るとともに、円滑な相談・支援活動を行う上で沖縄県や各保健所、拠点病院をはじめ、各地域の医療機関、訪問看護ステーション等との連携を更に深め、小児慢性児を含む難病当事者、家族の皆様が安心してご相談が受けられる様、尚一層努めてまいります。難病を抱えて日々を過ごされている方々の「夢をあきらめさせない」取り組みへ、今後ともお力添えを賜ります様、心よりお願い申し上げます。

また、例年と異なる点として2023年8月の台風6号では長時間の停電、断水など甚大な被害を受け、在宅療養中の人工呼吸器利用者(児)等の電源確保、避難先の整備など課題が浮き彫りになりました。さらに、元旦に発生した能登半島地震をうけ、電源確保についてご要望が多くなっていますので、ひとりでも多くの方々が安心と安全に暮らせるように努めて参ります。

最後に2023年度、数多くの方々や団体様に賛助会員としてアンビシャスの活動を支えていただきました。また多くの皆様より多額のご寄付を頂戴しています。私共が難病支援活動に取り組むに当たり、このように多くの皆様のご支援により円滑な活動運営が可能となっています。ここに改めて心より御礼申し上げます。

# 2023年(年度)事業報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

認定NPO法人アンビシャス

## 事業成果

沖縄県難病相談支援センターとして日々難病患者・家族からの相談を受け、療養や日常生活での悩み、不安等の解消を図るとともに様々なニーズに対応したきめ細やかな相談・支援を心がけた。2023年度は各種交流会や研修会等を通じ、地域における支援対策や意識レベルの向上を目指した。

### 1 難病患者、家族及び支援者への相談・支援事業

コロナ禍で急速に普及したオンラインを活用し、離島在住など会場に参加出来ない方への対応として、ご相談や交流会等をオンラインやハイブリット形式でも実施した。RDDのイベントを強化しコロナ禍で疎遠になっていた方や、新たな出会いと連携を深めることが出来た。また、筋萎縮性側索硬化症（ALS）の相談支援では予後の意思決定に関するニーズが高まってきている。さらに、2023年8月の台風6号、能登地震の発生から、在宅人工呼吸器装着の成人・小児に関する問い合わせは増大している。

2021年度から受託した小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の充実を図るため、個別支援においては保健所や医療機関など各種関係者と連携支援を実施。当事者の実態を把握しようと、交流会を企画開催した。また、事業の周知として学校関係や小児科などへの周知活動を開始。今後はまだ広報活動に至っていない、薬局やその他関係機関へ次年度も広がってきたい。

### 2 障害福祉サービス事業

会報誌の製作における寄稿や編集とホームページ掲載として活動する。

### 3 難病に関する周知啓発活動

これまで通り、難病情報提供を目的に難病情報誌の毎月発行を継続。更にソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を活用しイベント等の周知と拡散を始めた。また、当団体の紹介カードを作成し関係機関に配布設置を協力依頼していることを次年度も継続していく。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円) (税抜き)
1)難病患者、家族及び支援者への相談・支援事業	A)沖縄県委託事業 B)沖縄県補助事業 C)沖縄県小慢自立支援 D)那覇市小慢自立支援 E)患者会支援等 F)各種関係機関連携 他	通年	事務局 又は 各自宅 等	A)4名 B)4名 C)4名 D)4名 E)5名 F)6名	A)相談件数 863件 B)貸与累計 35件 C)相談件数 55件 D)相談件数 17件 E)広報支援 18団体 F)医療相談会 47組 看護学生実習 8名 ピアサポート 30名	17,528 内県委託計 12,586 A)+C)
2)障害福祉サービス事業	会報誌ICT寄稿・編集	随時	事務局	3名	寄稿各月 5名	3,527
3)難病及び各事業に関する周知啓発活動事業	広報活動（会報誌発行、WEB、SNS他） 世界希少難治性疾患の日	通年 3/2	事務局	6名	会報誌発行部数 年間延べ 19,200部 参加申込 113名	4,558
4)その他目的を達成するための事業	—	—	—	—	—	—

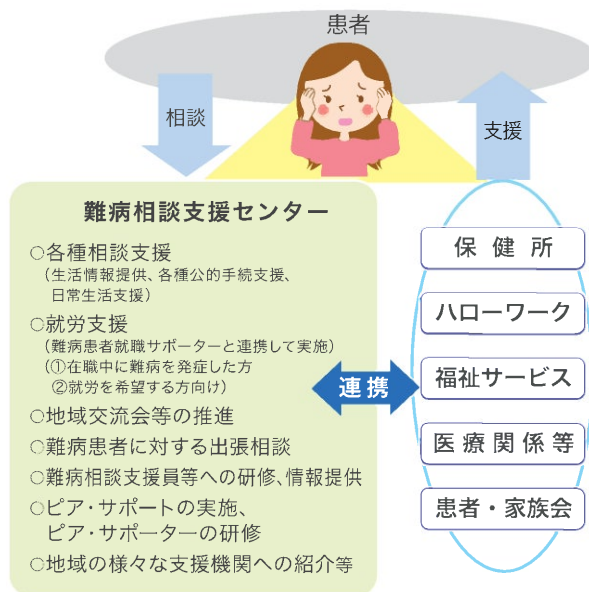
支出額計 25,613

## 沖縄県難病相談支援センター事業（県委託）2023年度

「難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）」においても、難病相談支援センターは重要な機関の一つとして位置づけられ、さらなる機能向上が求められている。

「難病の患者が地域で安心して療養しながら暮らし続けることができるよう、難病の患者に対する相談・支援、地域交流活動の促進及び就労支援などを行う拠点施設として設置され、難病の患者等の療養上、日常生活上での悩みや不安の解消、孤立感や喪失感の軽減を図るとともに、難病の患者等のもつ様々なニーズに対応し、医療機関をはじめとする地域の関係機関と連携した支援対策を一層推進するもの」とされている。

沖縄県においては、平成17年からアンビシャスが受託し、難病相談支援事業を行っています。地域連携は、保健所を中心に、労働関係者はハローワークや沖縄産業保健総合支援センターと、医療関係者は医師、訪問看護師やセラピストと連携。また患者・家族会には定例会等の周知活動を中心に実施している。

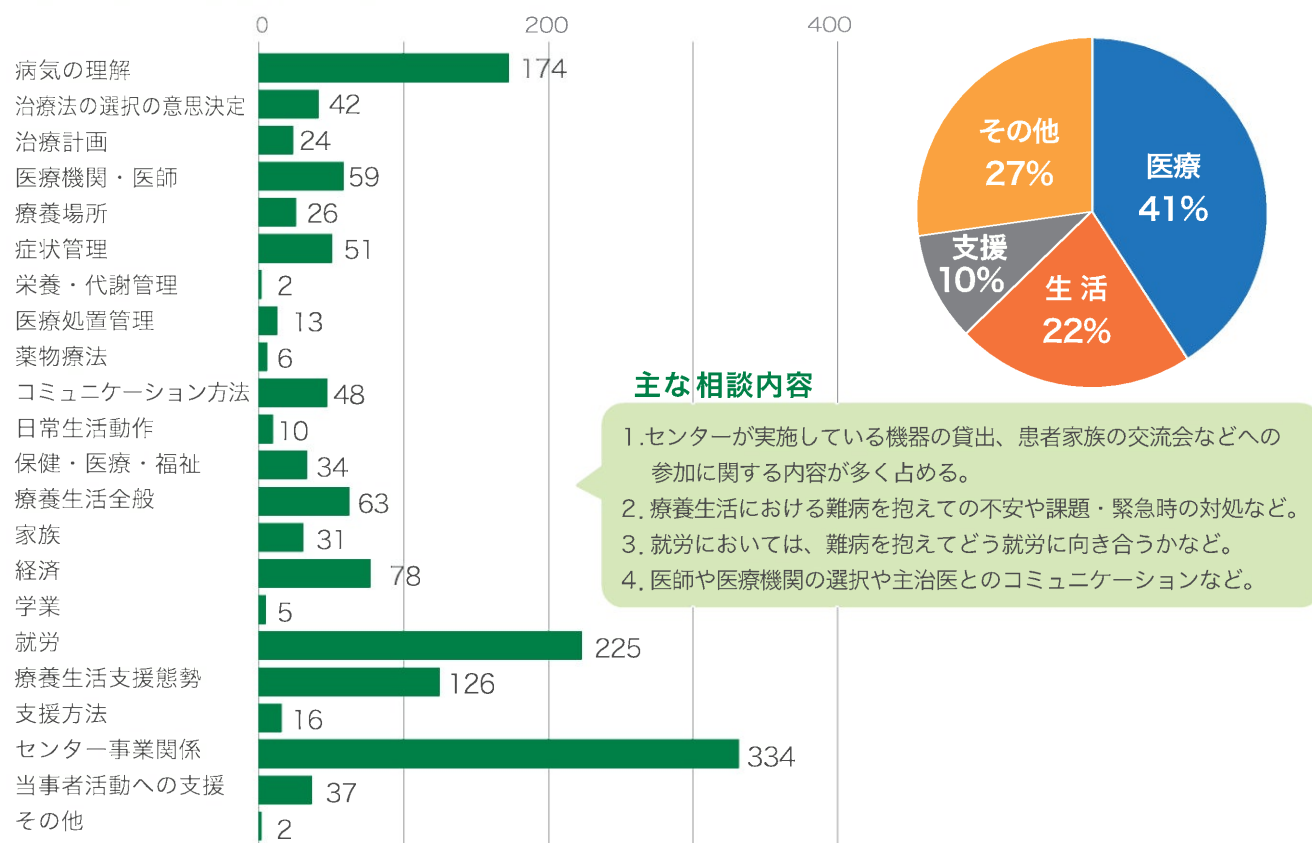


相談者、相談方法別相談件数（延べ件数）2023年4月1日～2024年3月31日

事項	相談者			
	患者	家族	その他	計
電話	349	96	196	641
面談	48	21	13	82
メール	56	11	17	84
その他	38	7	11	56
計	491	135	237	863

※相談件数の「その他」は、支援者、患者会、友人・知人など、患者、家族以外全て。  
 ※非常時電源確保相談件数、小児慢性自立支援、関係機関との調整などを除く。

相談対象者の相談内容件数（重複カウントあり）



## 2023年度 会計報告書

認定特定非営利活動法人 アンビシャス

## 活動計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位: 円)

科目		金額		科目		金額	
I 経常収益				2. 管理費			
1. 受取会費				(1) 人件費			
正会員受取会費	39,000			給料手当	3,480,759		
賛助会員受取会費	1,714,000	1,753,000		法定福利費	267,630		
2. 受取寄付金				福利厚生費	280,505		
受取寄付金	11,200,437	11,200,437		人件費計	4,028,894		
3. 受取助成金等				(2) その他経費			
受取民間助成金	100,000			印刷製本費	28,740		
受取地方公共団体補助金	5,071,000	5,171,000		地代家賃	120,000		
4. 事業収益				修繕費	38,500		
相談事業収益	9,462,000			旅費交通費	73,535		
就労支援事業収益	3,790,856			通信運搬費	300,793		
広報事業収益	980,000	14,232,856		租税公課	710,000		
5. その他収益				接待交際費	44,945		
受取利息	129			消耗品費	658,867		
雑収益	630,990	631,119		諸謝金	566,500		
経常収益計			32,988,412	支払手数料	114,006		
II 経常費用				雑費	150,758		
1. 事業費				その他経費計	2,806,644		
(1) 人件費				管理費計		6,835,538	
給料手当	11,440,133			経常費用計			32,488,664
法定福利費	1,542,583			当期経常増減額			539,748
福利厚生費	3,900			III 経常外収益			
人件費計	12,986,616			経常外収益計			0
(2) その他経費				IV 経常外費用			
売上原価	308,310			経常外費用計			
作業・就労支援	670,042			税引前当期正味財産増減額			539,748
報償費	190,234			法人税、住民税及び事業税	70,000		70,000
印刷製本費	11,054,665			当期正味財産増減額			469,748
旅費交通費	310,789			前期繰越正味財産額			18,157,435
通信運搬費	1,595,601			次期繰越正味財産額			18,627,183
消耗品費	7,376,609						
減価償却費	14,460						
地代家賃	814,410						
水道光熱費	161,874						
賃借料	11,088						
研修費	2,000						
接待交際費	51,308						
雑費	14,120						
その他経費計	12,626,510						
事業費計		25,613,126					

## 貸借対照表 (2023年 3月 31日 現在)

(単位: 円)

科目		金額		科目		金額	
I 資産の部				II 負債の部			
1. 流動資産				1. 流動負債			
現金預金	14,601,289			未払金	704,145		
棚卸資産	57,060			未払費用	1,286,315		
前払費用	86,000			未払法人税等	70,000		
未収金	3,588,681			未払消費税等	324,300		
未収還付法人税等	9			預り金	66,922		
立替金	1,043			カード未払金	269,631		
流動資産合計		18,334,082		流動負債合計		2,721,313	
2. 固定資産				2. 固定負債			
(1) 有形固定資産				固定負債合計		0	
什器備品	14,414			負債合計		2,721,313	
有形固定資産計	14,414			III 正味財産の部			
(2) 無形固定資産				前期繰越正味財産		18,157,435	
無形固定資産計	0			当期正味財産増減額		469,748	
(3) 投資その他の資産				正味財産合計		18,627,183	
投資有価証券	3,000,000			負債及び正味財産合計		21,348,496	
投資その他の資産計	3,000,000						
固定資産合計		3,014,414					
資産合計			21,348,496				

**ご寄付・ご支援・ご協力ありがとうございます** 順不同敬称略

**サポート・パートナー法人** ●全保連株式会社 ●株式会社いなんせ典礼

毎月定期ご寄付の方々 ●驥尾の会 ●株式会社 かね屋 ●匿名2名

**5月のご寄付**

●イオン琉球株式会社 ●迫 幸治 ●おきぎんSmart募金(9件) ●匿名3名

※アンビシャスホームページにあるコンテンツ「寄付した方々/今年度」にも掲載しております。ご参照ください。

**5月のご支援・ご協力**

●難病情報誌265号の折り曲げボランティアとして参加して頂いた方々

就労継続支援B型事業所「あるにこ」

●有限会社FECオフィスよりお笑い劇場公演優待チケット3枚を頂きました。

**募金箱設置ありがとうございます** 順不同敬称略

- 全保連(株) ●全保連コントロールセンター ●(株)メガネ一番 ●(株)いなんせ典礼 ●沖縄トヨタ自動車(株) トヨタタウン港川店、トヨタタウン松本店、トヨタタウンシーサイド店 ●(株)琉薬 ●(株)照正組 ●(株)K.Turtles ●恒和ペイント(株) ●日本交通(株) ●(社)全国個人タクシー協会沖縄支部 ●(社)沖縄県栄養士会 ●(有)だいにちシール ●(株)かりさら ●T-SHIRT-YA.COM国際通り店・北谷店 ●カラカラとちぶぐわ〜 ●てだこボウル ●フォーモストブルーシール北谷店 ●上間菓子店 ●西崎オートサービス ●マリンショップぶくぶく
- 水のサンクス ●山城二輪 ●さわやか歯科クリニック ●auショップ久茂地店 ●しゃしんやきんちゃんDigi-pit店
- 2DaTOP (ツダトップ) ダンススタジオ ●HAIR&MAKE EARTH沖縄新都心店 ●ジョッキハウス ●メキシコ雑貨tope (トペ)
- (有)麦飯石の水 ●スーパーチャレンジセンターミライ ●有機農産物 ばるず

**法人賛助会員** 順不同敬称略

- (有)ナンセイ日本商事 ●松城クリニック ●訪問看護ステーションぶくじ ●はびねず訪問看護ステーション
- まみ皮フ科クリニック ●(有)北辰ハウジング ●はいさいクリニック ●コザクリニック ●(有)仁開商事 ●光クリニック
- おおにし医院 ●恩納クリニック ●日本交通(株) ●くすみ薬局 ●玄米クリニック ●(株)ホープネクスト ●サンクス
- (有)タカラ ●(株)ケアコネクト ●さわやか歯科クリニック ●大和商工(株) ●(株)クオサ ●(有)麦飯石の水 ●(有)プログレス
- (株)アイアム ●ワンズトラスト(株) ●(株)住宅管理コンサルタント ●(有)ハート住宅 ●(有)スタプランニング ●(株)長堂材木店
- ライフホームズ(株) ●(有)ティダエステート ●(株)テルソウ ●なかむら内科おなかクリニック ●ゆずりは訪問診療所
- (株)ドウ・オキナワ ●(有)太陽印刷 ●どこでもWork(株) ●まつおTCクリニック ●こころクリニック ●しんざと内科
- 前田胃腸科医院 ●(有)ディー・ランド ●北部皮フ科クリニック ●外間眼科医院崇元寺 ●沖映通り眼科 ●テルモ(株)沖縄支店
- (株)琉行 ●(株)大央ハウジング ●首里城下町クリニック第一 ●首里城下町クリニック第二 ●城間クリニック ●サザン歯科まえた
- (株)まる不動産 ●(株)アクティブ ●(同)ONE live ●(株)沖縄ネット不動産 ●(株)メガネ一番 ●(株)ホープ住宅 ●(株)大成ホーム
- 南西医療器(株) ●訪問看護ステーションおもととよみの杜 ●(有)新地開発 ●(有)沖縄矢崎販売 ●(有)名桜不動産 ●(株)舜
- 比嘉歯科医院 ●南部徳洲会病院 ●しゅくみね内科 ●じのん整形外科クリニック ●おもとと会 統括リハビリテーション部
- 愛聖クリニック ●高良登記測量事務所 ●浦添さかい眼科 ●ねたて内科クリニック ●那覇かなぐすく皮膚科
- いくみ皮ふ科クリニック ●(株)K.Turtles ●訪問看護ステーションこころのかて ●那覇ゆい病院 ●こばし内科クリニック
- 中部協同病院 ●オリオンビール(株) ●嶺井第一病院 ●中部地区医師会 訪問看護ステーション ●訪問看護ステーションはっぴー
- (株)いなんせ典礼 ●岡野法律事務所 ●(株)興ハウジング ●神谷医院 ●かりまた内科医院 ●(株)ざまみダンボール
- (株)国建 ●牧港眼科 ●(社)沖縄県栄養士会 ●伊佐内科クリニック ●松本歯科クリニック ●沖縄メディカル訪問看護ステーション
- 稲福内科医院 ●(株)名城 ●沖縄病院 ●空と海とクリニック ●すながわ内科クリニック ●訪問看護ステーションちゅらぐる
- エクスポア訪問看護ステーション ●ふたば訪問看護ステーション ●訪問看護ステーション みかん
- (株)上咲組 ●こもれ陽訪問看護ステーション ●みやぐに皮フ科 ●又吉内科クリニック ●訪問看護ステーションうんな
- ハートライフ病院 ●沖縄県農業協同組合 ●訪問看護ステーションいやしの那 ●潮平病院 ●(株)チェーロ(cielo)
- ハーモニー薬局 寄宮店 ●訪問看護ステーション縁 ●合同会社いづも ●(株)うちなーうえぶ



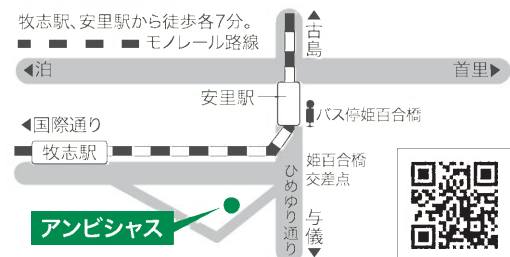
沖縄県難病相談支援センター

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-24-29 (グレイスハイム喜納2)

Tel:098-951-0567(代表) <http://www.ambitious.or.jp>

発行元/沖縄県難病相談支援センター アンビシャス(認定NPO法人)

理事長: 迫 幸治 副理事長: 照喜名 通



私たちは、沖縄県難病相談支援センターアンビシャスの活動を応援しています！

沖縄にとってかけがえのない会社へ。



**沖縄トヨタグループ**  
 沖縄トヨタ自動車  
**トヨタレンタリース沖縄 OTM**



**RYUKYU GOLDEN KINGS**  
[www.goldenkings.jp](http://www.goldenkings.jp)  
[www.twitter.com/RyukyuKings](https://www.twitter.com/RyukyuKings) (Official Twitter @RyukyuKings)

ヴィクサーレ沖縄FCを応援しています。



とちかおくちょうさし  
**土地家屋調査士**  
**伊波 学** 098-897-1245  
 沖縄県宜野湾市嘉数1丁目15番1号  
 e-mail:mabu05@nirai.ne.jp

複写機・OA機器リース、レンタル、  
 オフィス家具までトータル提案



**株式会社クオサ**  
**kuosa**

本社：〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客1丁目20番14号 2F  
 Tel:098-879-0162 Fax:098-879-0198  
 北部営業所：〒905-0019 沖縄県名護市大北2丁目1番地1号  
 Tel:0980-51-1600 Fax:0980-51-1601  
 宮古営業所：〒906-0015 宮古島市平良久具859番地16  
 Tel:0980-79-5751 Fax:0980-79-5752

Otsuka 大塚製薬 <https://www.otsuka.co.jp/>

トータルヘルスケア企業として、これからも、さまざまな人生のそばに。

**Pharmaceuticals**  **Nutraceuticals**




**Terumasagroup**

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**  てるまさグループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

毎月の会報誌、  
 各種イベントの  
 募集・お知らせ等  
 お役立ち情報をお届け♪



**LINE公式**  
**アカウント**  
**はじめました!**

@563aheli  
 でお友達  
 検索!



アンビシャス 認定NPO法人アンビシャス  
 沖縄県難病相談支援センター  
 <http://lin.ee/ojLZIEI>

あなたのご支援が  
 会報誌制作・運営の支えになります。

**協賛広告のお願い**  
 広告を掲載いただける団体・企業様を  
 募集いたします。

広告掲載費：毎月1万円  
 (募集枠：1・2月、4・5月、7・8月、10・11月の年8回又は年4回)

**【お問合せ】アンビシャス事務局**  
**Tel:098-951-0567 mail:info@ambitious.or.jp**